



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 堀田丸正株式会社
コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 雅美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (平成29年8月9日開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,696	△2.2	△8	—	△20	—	△26	—
29年3月期第1四半期	1,733	8.3	29	—	25	—	11	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △18百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △3百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△1.18	—
29年3月期第1四半期	0.48	—

※平成28年10月1日を効力発生日として、当社普通株式2株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	6,226	4,621	74.2	82.18
29年3月期	4,460	2,821	63.3	132.82

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,621百万円 29年3月期 2,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	1.4	0	—	0	—	△16	—	△0.75
通期	7,500	0.2	111	28.3	110	1.2	75	△13.6	3.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	59,640,348 株	29年3月期	24,640,348 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	3,395,518 株	29年3月期	3,395,405 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	22,398,745 株	29年3月期1Q	22,940,756 株

※平成28年10月1日を効力発生日として当社普通株式2株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、米国や欧州の政治動向や金融資本市場の変動の影響など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社は、平成29年5月23日付でRIZAPグループ株式会社と資本業務提携契約を締結し、平成29年6月28日にRIZAPグループ株式会社に対する第三者割当により新株式を発行し、19億25百万円の資金調達を行っております。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、平成28年8月に事業譲受したイエリデザイン事業部が売上高に寄与しましたが、既存事業では厳しい環境が続いたことから、売上高16億96百万円（前年同四半期比2.2%減）、営業損失は8百万円（前年同四半期は営業利益29百万円）、経常損失は20百万円（前年同四半期は経常利益25百万円）、株式会社西田武生デザイン事務所の株式を売却したことによる関係会社株式売却益を計上しましたが、事業所の統合及びシステムの統合に係る構造改革費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は26百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益11百万円）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

和装事業は、百貨店事業は店舗閉鎖や市況の悪化により低調に推移、専門店事業も企画催事の不振により売上高が減少しました。また、和装小物の量販店取引が大手取引先の不振により大幅な減収となりました。粗利率の改善や販管費の削減を行い改善に努めましたが営業損失となりました。この結果、売上高4億67百万円（前年同四半期比19.7%減）、営業損失は20百万円（前年同四半期は営業利益26百万円）となりました。

寝装事業は、ギフト販売は大手取引先が好調に推移し順調に売上を伸ばしましたが、量販店・専門店取引は売上を落とし減収となりました。しかし、粗利率の改善と販管費の削減により増益となりました。この結果、売上高1億42百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益は6百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。

洋装事業は、量販店取引はベビー子供服の大手取引先が順調に推移し売上を伸ばしました。また専門店取引も堅調に推移しましたが、百貨店取引の店舗閉鎖の影響もあり減収となりました。しかし、不採算部門の閉鎖、粗利率の改善、販管費の削減により営業利益は大幅に改善いたしました。この結果、売上高5億91百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益は32百万円（前年同四半期比218.9%増）となりました。

意匠捺糸事業は、平成28年8月に事業譲受したイエリデザイン事業部が寄与し売上高、営業利益ともに伸びました。また、国内既存事業は大手取引先の売上が改善し堅調に推移、中国事業は欧州向けの取引が減少しましたが、中国国内向け、日本市場向けが大幅に伸び増収増益となりました。この結果、売上高4億94百万円（前年同四半期比26.5%増）、営業利益は28百万円（前年同四半期比84.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は52億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億81百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が13億77百万円、商品及び製品が5億78百万円増加し、受取手形及び売掛金が1億85百万円減少したことによるものであります。固定資産は9億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少いたしました。これは主に長期貸付金が40百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は62億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億65百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は15億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に短期借入金36百万円増加し、支払手形及び買掛金が30百万円、電子記録債務が28百万円減少したことによるものであります。固定負債は59百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に長期借入金11百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は16億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は46億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。これは主に新株式発行による資本金9億62百万円及び資本剰余金9億62百万円の増加と剰余金の配当1億6百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は74.3%（前連結会計年度末は63.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、前回（平成29年5月15日付「平成29年3月期決算短信」にて公表しております。）の内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更等の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	488,209	1,866,166
受取手形及び売掛金	1,332,736	1,146,872
電子記録債権	181,311	188,060
商品及び製品	1,337,729	1,916,548
仕掛品	18,890	12,546
原材料及び貯蔵品	61,623	74,066
前払費用	39,304	33,436
短期貸付金	24,194	125
未収入金	16,487	10,132
未収還付法人税等	18,051	18,051
未収消費税等	—	30,068
その他	7,908	10,200
貸倒引当金	△23,178	△21,314
流動資産合計	3,503,269	5,284,962
固定資産		
有形固定資産	556,498	557,074
無形固定資産	22,942	13,158
投資その他の資産		
投資有価証券	83,999	98,631
長期貸付金	41,912	1,895
敷金及び保証金	72,720	72,192
破産更生債権等	60,359	60,209
長期前払費用	11,150	34,093
その他	170,908	166,882
貸倒引当金	△63,470	△63,044
投資その他の資産合計	377,580	370,860
固定資産合計	957,021	941,094
資産合計	4,460,291	6,226,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	766,257	735,263
電子記録債務	293,120	264,352
短期借入金	195,000	231,000
1年内返済予定の長期借入金	47,760	47,760
リース債務	5,086	5,133
未払法人税等	39,248	9,602
未払消費税等	17,199	3,508
賞与引当金	12,000	15,100
返品調整引当金	33,308	30,579
前受金	9,700	—
その他	149,917	202,365
流動負債合計	1,568,599	1,544,666
固定負債		
長期借入金	15,080	3,140
長期未払金	34,899	33,169
リース債務	7,087	5,786
繰延税金負債	12,245	16,682
資産除去債務	635	636
固定負債合計	69,948	59,415
負債合計	1,638,548	1,604,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,070	2,937,570
資本剰余金	273,652	1,236,152
利益剰余金	923,603	790,937
自己株式	△389,421	△389,442
株主資本合計	2,782,904	4,575,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,306	37,358
為替換算調整勘定	11,531	9,398
その他の包括利益累計額合計	38,837	46,757
純資産合計	2,821,742	4,621,975
負債純資産合計	4,460,291	6,226,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,733,949	1,696,374
売上原価	1,142,991	1,146,850
売上総利益	590,957	549,523
販売費及び一般管理費	561,666	558,504
営業利益又は営業損失(△)	29,290	△8,980
営業外収益		
受取利息	518	343
受取配当金	1,326	1,394
受取賃貸料	1,740	4,080
助成金収入	7,800	—
その他	957	315
営業外収益合計	12,342	6,133
営業外費用		
支払利息	1,498	882
手形売却損	539	571
為替差損	12,538	35
賃貸費用	1,469	2,327
株式交付費	—	9,450
その他	7	4,536
営業外費用合計	16,053	17,803
経常利益又は経常損失(△)	25,580	△20,650
特別利益		
関係会社株式売却益	—	25,642
特別利益合計	—	25,642
特別損失		
構造改革費用	—	28,279
特別損失合計	—	28,279
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	25,580	△23,287
法人税、住民税及び事業税	14,471	3,154
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	14,472	3,154
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,108	△26,441
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	11,108	△26,441

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,108	△26,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,508	10,052
為替換算調整勘定	△5,143	△2,132
その他の包括利益合計	△14,651	7,919
四半期包括利益	△3,543	△18,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,543	△18,521

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月28日付で、RIZAPグループ株式会社から第三者割当増資の振込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が962,500千円、資本準備金が962,500千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が2,937,570千円、資本剰余金が1,236,152千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠捺糸事 業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	582,583	145,442	613,667	391,031	1,732,724	1,225	1,733,949	—	1,733,949
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	85	—	—	—	85	6,300	6,385	△6,385	—
計	582,668	145,442	613,667	391,031	1,732,809	7,525	1,740,334	△6,385	1,733,949
セグメント利益	26,345	5,316	10,300	15,510	57,473	1,144	58,618	△29,327	29,290

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業及びブランドデザイン企画業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△29,327千円には、セグメント間取引消去25,621千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△54,949千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1 (注)4	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠捺糸事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	467,624	142,084	591,934	494,731	1,696,374	—	1,696,374
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	467,624	142,084	591,934	494,731	1,696,374	—	1,696,374
セグメント利益 (又はセグメント 損失(△))	△20,782	6,072	32,850	28,667	46,808	△55,788	△8,980

- (注) 1. セグメント利益の調整額△55,788千円には、セグメント間取引消去12,187千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△67,976千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
2. セグメント利益(又はセグメント損失(△))は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。
3. 洋装事業の棚卸資産が前連結会計年度の末日より612,572千円増加しております。
4. 「その他」に区分していたブランドデザイン企画業は、平成29年6月26日付で全株式を売却しております。また、人材派遣事業は重要性が乏しくなったため「調整額」に含めております。